

(中間評価)

グローバルヘルス政策人材養成講座

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：東京大学（総括責任者：濱田 純一）

プロジェクトの概要

地球規模の保健課題は、政治・外交・経済・貿易・ビジネスにおけるイノベーションの最前線であり、その対応には、分野横断的な発想でイノベーションを保健政策に応用できる国際的人材が不可欠である。本プログラムでは、技術革新だけでなく、施策や制度の変革のためのビジョン・思考やマネージメントもイノベーションとして位置付け、包括的なイノベーションのための画期的なプログラムを提供する。

具体的には、グローバルヘルスを切り口に、東京大学の既存のリソースを活用しながら相乗効果を図るために、国際保健学専攻と医学部「最先端研究開発支援プログラム」および学部横断的「政策ビジョン研究センター」と連携し、学内に「グローバルヘルス政策センター」を設置する。「グローバルヘルス政策人材養成講座」を通して、イノベーションの創出やその活用につながる政策立案や研究能力を持つ人材、多国間協調の枠組みの中でグローバルヘルス課題の解決に求められるイノベーションの活用の中核を担う実務家、イノベーションへの知見と実践力を持ち後進を育成する教育人材を育成する。こうした活動を通して、各専門分野に加えて社会・政治的側面を理解する知識・見識を兼ね備え、かつ国際的な広い視野に立った決断・行動力を持ち、リサーチマインドとアントレプレナーシップ・リーダーシップに富んだイノベーション政策革新人材の輩出を目指す。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
S	s	a	a	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

養成システムの構築、運営面において独自の取組、工夫が見られる。実績面においても国際機関等の就職に結びついており、成功したプロジェクトとして高く評価できる。

- ・**進捗状況**：グローバルに展開する新しい人材を養成するシステム、実践プログラムを構築し、機能させている。学内外から多数の応募者があり、目標養成人数を超える実績を挙げており、順調に進捗している点は高く評価できる。

- **イノベーション人材養成システム改革状況：** グローバルヘルスを前提として開始したプロジェクトが、他分野の博士人材を交えたグローバル人材養成システムへの展開を見せており、評価できる。学内外のネットワークを活用し多くの応募者から優秀な人材を選抜し養成するなど、成果を上げているが、さらに、全学展開に努力されることを期待する。
- **実践プログラムの開発・運用状況：** 国内外の様々な分野のリーダー的存在である一流の講師による講義が立ち上げられるなど、グローバルなプログラム開発・運用が行われており、評価できる。
- **実施体制：** 海外経験、外資系企業経験者で英語が堪能なスタッフを採用し、海外インターンシップへ行く前の英語による事前研修を徹底して行っており、海外インターンシップの成果を挙げている。また、海外インターンシップ先を多く確保している努力は高く評価できる。本プロジェクトへのポストドクターの参加を増やすための、ポストドクターの現況把握、広報、参加できる環境をつくり、大学全体としても積極的に取り組むことを期待する。
- **今後の進め方：** グローバルな人材養成システムとして、大学全体の人材育成システム改革への道筋が示されているほか、外部からの資金調達の可能性が示され、資金的にも自立継続が期待できる点は評価される。今後より多くの、さまざまな専門分野、ポストドクターも含めた博士人材の養成への展開のほか、外部資金調達を積極的に推し進め、自立性を一層高めることを期待する。